

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H310	地域経済学	3年	講義	2	豊田 晃
授業概要 ・経済や金融の基礎知識を習得し、日本経済の現状・課題を学習した上で、栃木県を中心とした地域経済の実状・課題・特徴などについて、ワークショップの手法を採り入れながら学習します。 ・講義内容によっては、別の専門家(あしぎん総合研究所研究員)の講師による授業を行い、より専門的な知識を平易に伝えます。					
到達目標(学習の成果) ・日本経済や地域経済に関する知識を習得し、日本経済・地域経済の現状について理解することができる。(DF3) ・新聞やテレビの経済に関するニュースに興味を持ち、日本経済・地域経済に生じている課題を理解し、その対応策について考えることができる。(DF3)					
授業計画					
回	表 題	学修内容			
1	経済・金融の仕組みと基礎知識(1)	・物価、GDP、円安・円高、銀行、金融政策など、経済・金融の仕組みの基礎知識を知り、経済を見る目を養います。			
2	経済・金融の仕組みと基礎知識(2)	・同上。			
3	日本経済の歩み(明治以降)	・わが国経済がどのような足取りを辿ってきたのか、特に現在の経済情勢につながる歴史的なポイントを学習します。			
4	日本経済・地域経済の課題	・日本経済・地域経済が直面する諸課題、特に人口減少の影響などについて知識吸収します。			
5	栃木県経済の実力・特徴	・地元栃木県経済について、産業の実力や特徴などを学習します。			
6	栃木県経済(地域経済)の課題	・栃木県経済(地域経済)が直面する課題について整理します。			
7	栃木県の観光産業の現状と課題	・“観光立県”である栃木県の観光(産業)の現状・優位性・課題などを学習します。			
8	栃木県の観光活性化策(意見発表ワーキング)	・栃木県の観光活性化について、ワークショップの手法により、みんなで考えます。			
9	宇都宮市(地方都市)の現状と課題	・地元宇都宮市経済の現状を整理し、地域が直面する課題について学習します。			
10	地域開発・地域活性化策	・民間資金を活用した地域振興・地域活性化策などについて学習します。			
11	地方都市の商店街の現状と課題	・地方都市の商店街の現況を知り、地域活性化の方策を考えます。			
12	オリオン通り商店街を歩いてみる ＜カフェ談義＞	・実際にオリオン通りを歩き、問題点・課題を肌で感じます。カフェで談義します。			
13	中心市街地・商店街活性化策(意見発表ワーキング)	・前々回、前回の授業を踏まえ、商店街活性化策などをワークショップの手法により、みんなで考えます。			
14	ITが開くこれからの地域経済	・「IT」が地域経済に深く関わっていることを学習します。			
15	2018年央の経済情勢、今後の経済見通し	・足もとの日本経済の経済情勢を概観し、今後の経済見通しを整理します。			

準備学修(授業外の自己学修)

・メディアなど(テレビ、新聞など)からの情報に関心を持ち、アンテナを高くし、今のようなことが話題になっているのかを把握するようにして下さい。

成績評価の方法・基準(%表記)

期末試験 80% コメントシート(ニュースなどを記載)の充実度 10% 授業態度 10%

観点	S	A	B	C
日本経済や地域経済の現状に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
日本経済・地域経済の課題に対する対応策	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

・教科書・参考書類の指定はありません。教材(パワーポイントの縮刷印刷物)は毎回の授業時に都度配付します。

参考書等

なし

履修上の注意・学修支援

・毎回の授業時に「コメントシート・アンケートシート」を配付し、授業内容の感想、疑問点などの確認をします。